

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)

出題の特徴

論述問題が増えた。長い論述問題が多かった(150字, 100字, 60字)。

例年より有機の問題が難しかった。

無機の各論の出題が少なかった。

その他トピックス

今年は第3問の有機の問題が難しかったので、有機から解答した受験生は不利になったと思われる。

昨年出題されなかった天然有機化合物の問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	I 記述,論述 計算	理論	化学・ 化学基礎	再結晶, 硫酸ナトリウムの無水物・十水和物の溶解度, 温度変化と溶解平衡	標準
	II 記述,論述 計算,選択	理論	化学	分子間力と沸点, 一定圧力下でのヘキサン・水・窒素の混合気体の冷却	標準
第2問	I 記述,論述 計算	理論, 無機	化学・ 化学基礎	電子式と分子の形, グラフェンと窒化ホウ素の構造, 凝固点降下	標準
	II 記述,論述	理論, 無機	化学・ 化学基礎	化学結合, イオン半径とクラウンエーテルの空隙の大きさ	標準
第3問	I 記述,論述 選択,計算	有機	化学	芳香族化合物の構造決定, 実験操作	やや難
	II 記述,論述 計算,選択	有機, 理論	化学	アドレナリンとその阻害剤(プロプラノロール)および受容体, 化学平衡	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基礎力を確立するとともに思考力・応用力を養成すること。論述問題が多いので、「過去問」などを通じて、論理を明確に展開する力を付けておく必要がある。